No	質問内容	回答
1	現行の仕様で、改善が必要な課題は何か見つかりましたでしょうか？	導入したばかりで現状見つかっていませんが、今後実際に使用している事業所に対してアンケート調査を実施するなど、課題を洗い出しする予定です。
2	開発は事業所ではなく管理課が行ったとのことですが、このような業務改善は、いかに実際に作業を行う職員の視点に立てるかが重要ではないかと思っています。どのように現場の職員とコミュニケーションをとり、どのように声を拾い上げたか、工夫した点を教えてください。	おっしゃるとおり現場職員の視点を常に意識しました。導入前は現場経験の長い庶務担当者と打合せを重ね、課題や要望をヒアリングしました。試作段階でも実際の画面を見てもらい、操作性や必要な項目の調整をしました。全事業所への展開では、オンラインで全事業所向けの説明会を開催し、またマニュアルの配布を行いました。実際の運用開始時には、電話での問い合わせに一つずつ対応しました。
3	備品管理を行う際、すべての備品（消耗品等）名、詳細情報をKintoneに入力していったのでしょうか。把握、Kintoneへの情報移行はどのくらい時間がかかりましたでしょうか。	スモールスタートを意識し、対象は全事業所共通かつ在庫不足が多々見られる「複合機のトナー」に絞り、運用を開始しました。詳細情報は発注時に使用している情報が既にあったため、そちらをコピー＆ペーストしたCVSデータを使って一括登録しました。CSVデータの作成と全てのアプリへ反映に合計2時間ほどしかかかっていません。
4	医療機関の受信予約のようなシステムを導入したい場合、個人情報の管理など細かい点を最初に相談したいのですが、導入前に全体像を相談できるような仕組みやサポートはありますでしょうか？	デジタルサービス局にて、各局向けのデジタルサポートを実施しておりますので、ご検討ください。 デジタルサポートポータル https://tokyotocho.sharepoint.com/sites/20200028/SitePages/Home.aspx
5	kintoneを選択された理由はなんでしょうか。他に候補はあったりしましたでしょうか。	「誰でもアプリを作成できること」、「誰でも利用できること」を前提に、デジタルサービス局など知見のある方々へ相談をし、適切なツールとしてkintoneのアプリを選びました。kintone自体は当局でも既に導入していたため、他の候補は検討しませんでした。
6	交通局の事例、各所からこのツールで情報収集したうえで、発注は管理部署ですべてまとめて行えると効率化が極まりそうですね	おっしゃるとおりの認識です。kintoneアプリを管理している部署と発注を行う部署が本庁内で異なるため、両者の連携が今後のポイントになると思っています。
7	様々なデジタルツールが導入されていることを知ることができて良かったです。自分の組織でも導入がしたいと思うのですが、導入にあたってどのような点を確認すれば良いでしょうか。	ツールありきではなく、まずは何をしたいか、どういう課題を解決したいのかを整理して、周りの方と調整をすることだと思います。 機能面は、何の課題を解決したいのかが明確であれば相談で解決できると思います。

No	質問内容	回答
8	事業所の中には、事務に不慣れな職種や年配の職員、同一職場での勤務経験が長い職員が多いなど、DXが進みづらい雰囲気の職場も多いと思います。このような場合、取組を進める上での心構えやアドバイスがあれば教えてほしい。	DX化を目的とせず、身近な課題を解決することを目的としたことがよかったと思います。
9	デジ局では様々な事業所のDXの支援を行ってきたとのことですが、苦労された事例などがあればご紹介いただきたいです。	【デジタルサービス局回答】何をやるか、何に取り組んでいくかといったところからツールを選定していくので、取り組む課題を決めるのに苦労したことがありました。また、実際打ち合わせをした担当者の方とは合意ができても、事業所全体で進めるとなった際に別の候補が出てきて課題が定まらなかったりといった点は苦労しました。 【交通局回答】現場に入れていく上で、完成までが苦労しました。 必要なものを作るということで、現場の方の意見を聞いて、直してということを繰り返していたので、このすり合わせが大変でした。 完成してからはすんなり導入することができたので、導入に関してはあまり苦労はありませんでした。
10	今回の取組（備品管理）を行おうと思ったきっかけを教えてください。現場の意見を聴取した上で行ったのでしょうか。またはある程度トップダウン的に行ったのでしょうか。	事業所DXを進めていこうとする中で、現場の方が必要なものを作りたいと考え、昨年度事業所DXに取り組んだ一事業所と相談した上で、今回の取組を始めました。 やるからには身近な課題を解決するために、必要なもの・困った事業を洗い出してスモールスタートしました。
11	現場の職員から、反対の声やネガティブはなかったか。あった場合はどのような意見でどのように対応したかを教えてほしい。	なるべく説明に尽くしたところがあるのであまりネガティブな声はありませんでしたが、実際抵抗感はあったと思います。 実際に、不満の声をもらいましたが、そういったものを少しずつでも改善できていければよいなと思っています。
12	クラウドツールによるデータベースの構築や、入出庫アプリの開発は誰が、どのように行ったのでしょうか？その時はどのような苦労がありましたか？	基本はデジタルサービス局（デジタル改革課）の職員が、事業所の方と打合せをしながら必要な機能、データ項目を聞き取り、交通局に提供できるものを作りました。

No	質問内容	回答
13	福祉局における相談のAIマイニング事例について質問です。 導入にあたって、情報管理基本方針等の庁内規程に照らしてAIを導入できるように調整を重ねられたかと思いますが、その中でも、「AIに個人情報などの機密情報を入力するリスク」をクリアするためにどのような調整を行ったのか、ご教示いただければ幸いです。（※このような別規程を整備した、セキュリティ基準をクリアしている「〇〇」というAIサービスを導入した等）	詳細は把握できておりませんが、ツール選定後の調整は福祉局の方で検討されていると思います。 デジタルサービス局では「課題を絞り込む→課題解決するためのツールの選定」といった流れまでを主に支援しています。 個別に所管の方につなぐことはできますので、必要に応じご連絡いただければと思います。
14	自分の部署でも在庫管理アプリを作成したいと思います。交通局様のアプリのテンプレートを配布したり、フィールドやプラグイン情報を共有いただくことは可能でしょうか？	アプリの詳細やどのプラグインを入れているのかなど、個別のご相談はご連絡いただければ可能です。
15	ソリューションの情報収集やデモ操作等導入前のフィット感の検討などはどのようにされていらっしゃるのでしょうか。	ソリューションの情報収集は、本件の委託事業者にお願いしていました。導入前のフィット感は、デジタルサービス局の方である程度試作を作り、交通局に実際に触ってもらいながら出た意見は改善し、これを２～３回ぐらい繰り返しました。
16	在庫管理アプリの保守管理の体制をお伺いしたいです。異動が発生しても維持できそうでしょうか？	去年、今年と管理課の担当が変わっていないので、導入までは滞りなくできましたが、今後の管理や現場の方が使い続けてくれるかどうかというところは不安はあります。 ただ、今回作成したアプリはどちらも役立つものであるため、活用してもらえると思っています。 Kintoneはノーコードで素人でも直すことができるので、使いにくいところは改善していけば維持もしやすくなると思っています。
17	事業所DX実践ガイドにおける「整理ツール」の使い方を詳しく学ぶ機会はありますか？研修やワークショップなどのイメージです。	ツールの所管部署で研修やワークショップを実施しています。 開催案内は全庁に向けて通知されると思いますので参照していただければと思います。